

【石川】隆起地通る、復興への道 千枚田近くの国道249号、2日開通



隆起した海岸部に作られた国道249号の道路。5月2日正午から緊急車両などが通行可能になる(奥が珠洲市方面)=26日、石川県輪島市野田町で、中日新聞本社へ「まなづる」から(駐地巧輝撮影)

(2024年4月27日 中日新聞)

能登半島地震による大規模な土砂崩れで寸断されている国道249号について、石川県輪島市の国名勝「白米千枚田」付近の約800メートルで、5月2日正午から緊急車両と地元住民の車両に限って通行可能となる。地震で海底隆起した用地に迂回(うかい)路ができた。県に代わって工事する国土交通省能登復興事務所が26日に発表した。半島を外周する国道249号のうち、今回の区間は千枚田の東側に位置し、千枚田寄りの約430メートルは海底隆起した用地に盛り土をした。幅5メートルの一車線を確保し、車両がすれ違えるよう途中に待避スペースも設けた。両脇には土のうを積み、崩落を防ぐ。地震発生時や大雨の際は通行止めとなる可能性がある。

同事務所によると、海底隆起した用地を使った迂回路は全国的に珍しい。もともとの道路が海面近くを走っていたことや、用地の硬さが工事に適していたことで実現した。今後は2車線化の工事もする。国道249号は輪島、珠洲の両市内にある半島北側の計5カ所が通れなくなっており、残る4カ所の復旧も急ぐ。(河野晴気)

【福島】富岡町・夜の森地区の桜まつり 14年ぶりに夜の森公園で開催



「夜の森公園」メイン会場は14年ぶり



にぎわっている姿をみて うれしい思い出が いい思い出になりました

(2024年4月6日 NHK NEWS WEB)
原発事故の影響で一時、全域に避難指示が出された福島県富岡町の桜の名所、夜の森地区で、町のシンボルにもなってきた恒例の桜まつりが6日から始まりました。14年ぶりに、事故の前と同じ「夜の森公園」をメイン会場に開催され、大勢の人でにぎわっています。富岡町の夜の森地区は、全長2.2キロの通り沿いにおよそ420本の桜の木が並ぶ桜の名所で、町のシンボリックな存在の桜まつりは、町の避難指示が7年前に一部で解除されてから再開しています。ことしの桜まつりは、夜の森地区の避難指示が去年4月に解除されたことで、14年ぶりに事故前と同じ「夜の森公園」をメイン会場に開

- 震災から現在まで!「夜の森の桜」ストーリー
- 2012年 居住制限区域内の桜並木にライブカメラを設置
 - 2014年 各仮設住宅から出る送迎バスから桜並木を見る「復興の集い」を開催
 - 2016年 桜並木の3D映像制作
 - 2018年 「桜まつり」の名称で復活開催
 - 2022年 12年ぶりに全長2.2kmすべてで「歩いて花見」が可能に
 - 2023年 ライトアップ

催され、町に戻った住民や避難先の町外で暮らす人など大勢の人が訪れました。桜は6日の時点で3分咲きだということですが、並木道での散歩を楽しんだり雨に濡れた花を写真に収めたりする人の姿が見られました。富岡町と同じように原発事故の影響で一時全域に避難指示が出された浪江町に於て住んでいて、いまも青森県に避難しているという60代の女性は「人がたくさんいることが励みになります。復興に向けて町が力強く前を向いていると感じました」と話していました。桜まつりは、7日も午前9時から午後3時まで行われます。

we support!

RQ 災害教育センター

MONTHLY

復興支援「すけさきた」

「東北に黒糖を送ろう!大作戦しんぶん」改め

「すけさきた」とは宮城県登米市あたりの言葉で「ボランティアに来たよ」という意味である。

MAY 11 2024